



たかぎ 議会だより

No.89 令和2年4月

- P2 議長あいさつ・広域連合便り
- P3 第1回定例会議案審議内容
- P4.5 一般会計当初予算
- P6.7 令和2年度予算注目事業
- P8.9 世代別・分野別予算
- P10.11 議会報告会より

- P12.13 議会活動より
- P14.15 喬木中3年生要望書提出
- P16 議員紹介
- P17 議会モニター
- P18 この村でがんばってます



新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する 議会の対応について



喬木村議会では3月定例会を控え、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考慮した日程の検討を行いました。新型コロナウイルスについては感染のメカニズムなど未解明が多くあり、深刻に考えるか、楽観的に考えるかなど多くの意見がありました。この問題に正解がないと考え、国・県及び村より新型コロナウイルス感染拡大防止対策として示された内容を議会としても協調し、対応する決断をしました。小中学校の臨時休校、各種イベントの延期又は中止という状況に鑑み、特別な会期日程を決定しました。これは、議案の審議、議決という議会の使命と並行して、世

界的に、急激に感染拡大した新型コロナウイルスが、当地域での感染を防ぐための対応としたことです。新年度予算を審議・議決するという今定例会で一番重要な職務を優先し、感染リスクの高い、長時間の密室で30名以上の参加のある一般質問を全議員の理解をいただき自粛することとしました。代わりに予算決算常任委員会では予算審議と併せて、新年度の村の方針や施策、事業に関する総括的な質疑を行いました。また、並行して議員が集まり討論する場を減らし、個人パソコンを用いて議案に対する簡易な質問や議員の考えを全員で共有したり、メールによる議員の意見交換することを強化し、非常時の議会運営のあり方を模索することとしました。

今定例会を総括し今後の議会運営の参考とするとともに、新型コロナウイルスが1日も早く終息し、平常な生活に戻ることを祈念し、議会の対応の報告とします。

議長 下岡 幸文

広域連合便り

○看護師等確保対策修学資金貸与事業 事業開始初の卒業生が地元就職

新規貸与枠は5名以内。30年度はこの事業による初の卒業生2名が看護師等の資格を取得して、地元就職することができた。本事業に期待したい。

○稲葉クリーンセンター

喬木村のごみ増！

喬木村。ごみ搬入量約27t増、前年比較約104.59%。全体の持ち込み家庭ごみの34%が無分別状態。焼却不適物の混入割合は38%。プラ資源17%も混入。適切な分別でごみ減量化が課題。

○運転免許証の即日交付始まる

免許センター開設への要望活動展開。設置までの対策として飯田警察署に作成機が設置されたもの。



受け付けで長い列をつくる免許更新者
(2020年3月3日 南信州新聞より掲載)



議

案

審

議

内

容

今回新型コロナウイルス対応議会運営のため、議会運営委員会にて、当初予定した議案の委員会付託を省略し、即日議決議案に変更して審議した。議案第8号において、即決に反対動議が出されたが、動議に対し反対意見が出され反対多数で反対動議は否決された。それ以外の議案についても質疑・討論が行われ、起立採決の手法にて全会一致にて可と決した。

議案第1号：辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更について

辺地に係る公共施設の総合整備計画の事業内容の変更が生じたため事業費と追加財源について大島・上平の計画書が変更された。

議案第2号：議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

報酬審議会の答申を受け、議員報酬額の改定が行われた。

議案第3号：喬木村奨学金貸付金条例の一部を改正する条例の制定について

現在1,000万円の奨学金基金の額を500万引き上げ、奨学金の貸付希望者の増員に対応するため条例の改正が行われた。なお、200万円を6名に貸与し、1名分の返済が現在行われている。

議案第4号：土地開発基本条例を廃止する条例の制定について

高度経済成長下地価上昇により影響を受けた事業の円滑な執行を目的として制定されたが、その役割を終えたため廃止し、積立基金は一般財源に繰り入れる。

議案第5号：喬木村印鑑の登録および証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本人の意思確認ができる場合、成年後見人から印鑑の登録申請の受付が出来るようにするため等。

議案第7号：喬木村営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

改正民法の施行に伴い、更なる債権管理の適正化を図るため。条例での延滞金を遅延損害金とし、その端数処理方法等々にそれに照らし合わせて改正した。

議案第6号：社会福祉法人への助成に関する条例の制定について

社会福祉法人への村からの補助金等支出の条例を明文化し、喬木村が助成をする事について必要な事項を定めた。村は社会福祉法人に対して、その法人が行う事業等に予算の範囲内で助成する事が出来る。法人は助成の申請する際、その理由書・事業計画及びそれに伴う収支予算書を添え申請しなければならない。

また、事業終了後に事業実績報告書の提出も義務付けられた。

議案第10・11号：工事請負契約の締結について

堰下ガイドウェイヤード建設に伴う村道202号線堰下一工区道路改良工事を大平建設株式会社と、県道251号線村道587号線堰下2工区を野島建設株式会社と、村単道路改良工事として契約を締結した。

議案第8号：喬木村公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について。

普通河川、認定外道路等公共物の占用に対して、適正な管理を行う目的で占用料を徴収するため。土地の占有料および土石採取料について種別・単位・料金等明記した。

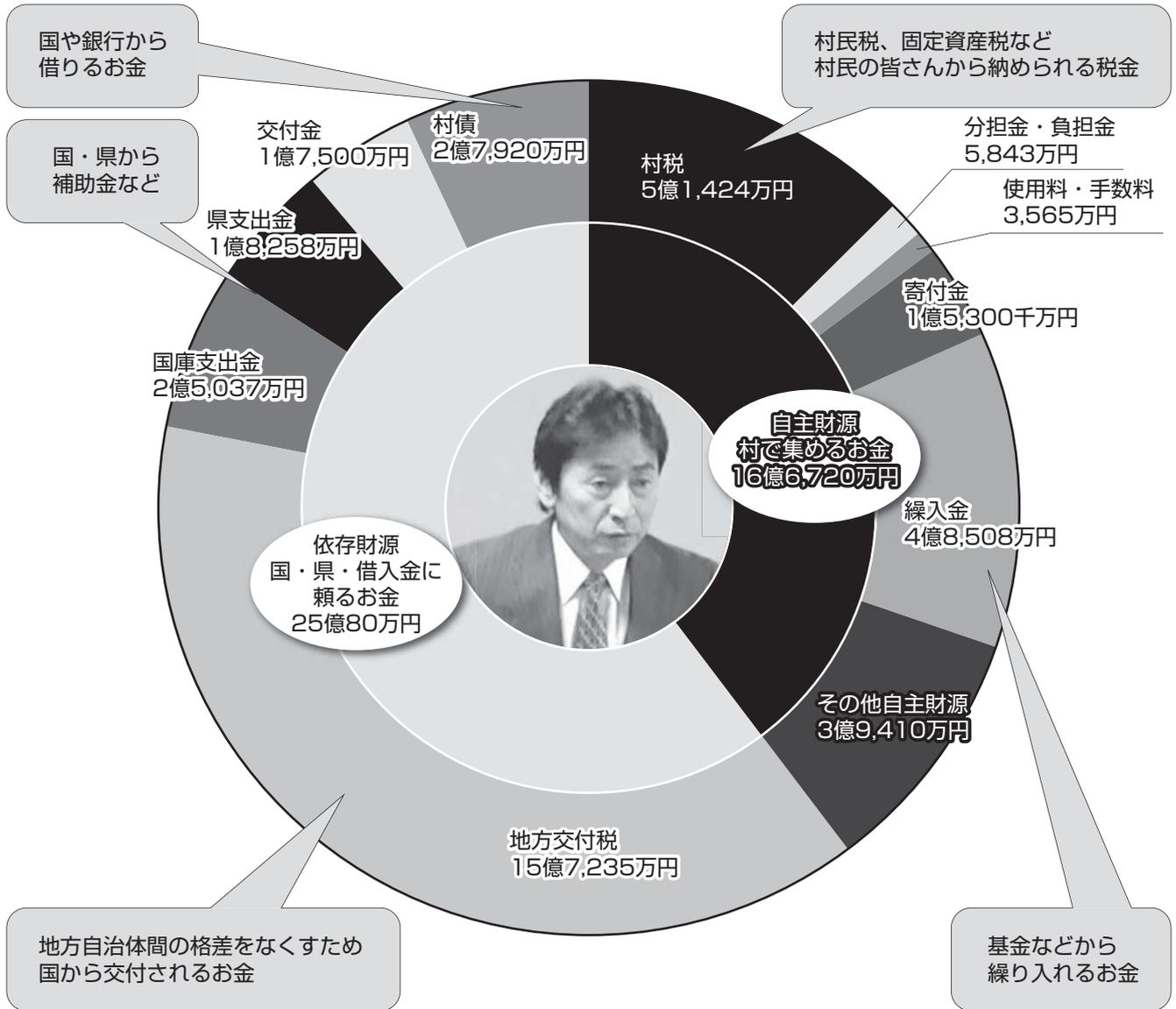
議案第9号：喬木村防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

委員の構成について、自主防災組織を構成する者または学識経験者のうちから村長が任命する6に人の人数を削除し、村長が必要と認めて任命する者を充てると改正した。また全委員の定数を30人以内とした。

議案第12・13号村道認定・廃止について

村道氏乗地籍918号線の起点の変更により認定村道が延伸した事に対するこれまでの村道の廃止および伸長された村道の認定。

一般会計当初予算



一般会計当初予算額

単位：千円

	令和2年度	令和元年度	比較	前年比
一般会計	4,100,000	3,630,000	470,000	+12.9%
前年度予算繰越(事業前倒分)	68,028	17,474	50,554	+289.3%
実質当初予算合計	4,168,028	3,647,474	520,554	+14.3%

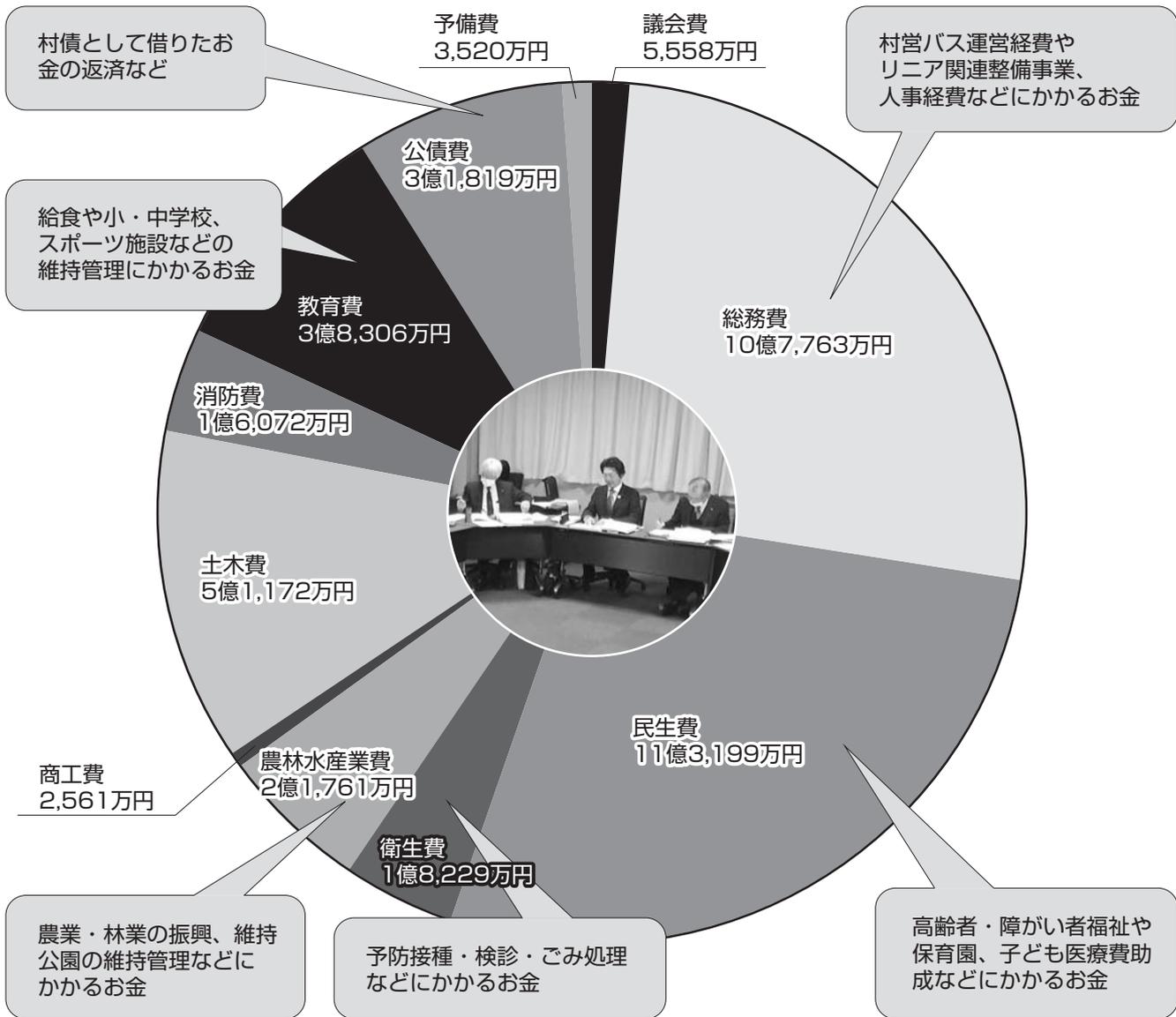
特別会計当初予算額

単位：千円

	令和2年度	令和元年度	比較	前年比
国民健康保険特別会計	515,000	545,000	△30,000	△5.5%
後期高齢者医療特別会計	84,000	75,000	9,000	+12.0%
介護保険特別会計	754,000	785,000	△31,000	△3.9%
合計	1,353,000	1,405,000	△52,000	△3.7%

過去最高額
41億円
前年度比 12.9%増

令和2年度の予算審議が行われ、一般会計実質当初予算は歳入歳出の総額が、それぞれ過去最高額の41億6,800万円となった。前年度と比較して5億2,000万円、14.3%増。特別会計と事業会計合わせた総額は60億円を超える大型予算を可決した。



事業会計当初予算額

単位：千円

	令和2年度	令和元年度	比較	前年比
水道事業会計	376,451	225,686	150,765	+66.8%
下水道事業会計	614,154	540,796	73,358	+13.6%
合計	990,605	766,482	224,123	+29.2%

基金の残高と村債の現在高

単位：百万円

		平成30年度末	令和元年度末(見込)	令和2年度末(見込)	2年度中増減
基金	一般会計基金	3,870	3,973	3,504	△469
	特別会計等基金	235	236	236	0
	基金合計	4,105	4,209	3,740	△469
村債	一般会計村債	2,249	2,165	2,135	△30
	特別会計等債	1,834	1,685	1,760	75
	村債合計	4,083	3,850	3,895	45

令和2年度予算 注目の事業

令和2年度、第1回定例会の予算審議では、
村政全般にわたる総活質疑も行った。

その中で、議会が注目した事業を紹介する。



宅地造成事業

下段地域（北地区）に住宅造成を行うための土地購入
費や補償金等 注：写真はイメージです



監視カメラ設置補助金

ごみステーションに監視カメラを設置するための補助
の創設



中学校トイレ洋式化

避難所としての機能強化を図るため、トイレの洋式化
を行う



リニア関連整備事業

堰下ガイドウェイ盛土造成工事、伊久間工業団地関連工事等



1億7,968万円

統合保育所関係経費

統合保育所建設のための用地取得、造成工事、設計等



3億5,066万円

上下水道整備

統合保育所・伊久間工業団地等の村の開発に伴う上下水道管渠布設工事等



1,521万円

保健体育施設管理経費

中央社会体育館の非常用発電設備更新
運動公園ランニングコース照明器具のLED化



2,576万円

村営バス運営経費

富田地区・上平地区で実証運行を行う（大島線）



823万円

救急救助用資機材整備事業

電動油圧切断機等の救急救助用資機材を各分団に1台配備する

みなさんのくらしを支える

<p>年代別 →</p> <p>分野別 ↓</p> <p>どこへ聞けばいいの？</p>	<p>誕生の世代 【出産・幼児期】</p>	<p>学びの世代 【就学期】</p>
<p>保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保健福祉課 (健康保険係) ☎ 33-5125 ●保健福祉課 (包括支援係) ☎ 33-1120 	<p>◇児童・生徒医療費 (小学生～高校3年生まで) 1,260万円</p> <p>◇乳幼児医療費(乳幼児医療費・小1～中3入院費助成)647万円</p> <p>◇予防接種事業 (乳幼児～高校3年生) 1,676万円</p> 	
<p>福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保健福祉課 (福祉係) ☎ 33-5123 ●企画財政課 ☎ 33-5129 ●教育委員会 ☎ 33-2002 	<p>◇児童手当事業 1億850万円</p> <p>◇重心母子精神医療費 (県・村) 2,174万円</p> <p>◇出産祝金事業 692万円</p> <p>◇3園運営経費 2,931万円</p> <p>◆村営バス運営経費 2,576万円</p>	
<p>教育・文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会 ☎ 33-2002 ●みんなの広場アスポ ☎ 33-5570 		<p>◆ICT活用教育 812万円</p> <p>◇外国語教育推進 301万円</p> <p>◆奨学金積み増し 500万円</p> <p>◇保健体育施設 (中央社会体育館・</p>
<p>産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産業振興課 (農政係・商工観光係) ☎ 33-5126 ●生活環境課 (環境林務係) ☎ 33-5127 	<p>村民の くらしを支える 大事な予算です</p> 	
<p>社会基盤・生活環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高速交通対策課 (建設係) ☎ 33-5128 ●生活環境課 (上下水道係) ☎ 33-5122 		<p>◇村単道路改良事業 7,950万円</p> <p>◇道路橋梁維持管理経費 3,583万円</p> <p>◇水道事業建設改良費 1億8,216万円</p> <p>◇塵芥処理収集経費 1,782万円</p>

予算

3月
議会で



決定

働き盛り世代 【青年・壮年期】

シルバー世代 【熟年期】

ちよつと解説



◇がん検診推進（村単） 781万円

◆風しん対策 236万円

◇妊婦健康診査 651万円

◇母子衛生経費 290万円

◇予防接種事業

◇後期高齢者保健事業 129万円

風しん対策事業

・対象者（40～57歳男性）全員に抗体検査無料クーポンを配布。

村営バス運営経費

・富田地区、上平地区で半年間の実証運行を行う。

◇障がい者総合支援・地域生活支援 2億1,870万円

◇出会い・結婚支援 198万円

◇移送支援事業 600万円

◇社会福祉協議会関係経費 1,400万円

ICT活用教育関係経費

・小中学校の通信ネットワークを高速大容量なものに更新する。

コミュニティバス運行事業 623万円

◇地域子育て支援 400万円

奨学金貸付基金

・奨学金利用者の増加を見込み、今回500万円を積み増し、基金の額を1,500万円にする。

◇多機能型施設関係経費 410万円

運動公園等7施設）管理経費 3,169万円

◇多面的機能・中山間地域等直接支払交付金 1,359万円

◆村単農業施設改良事業 4,765万円

◇農業次世代人材投資事業 300万円

◇商業振興関係事業補助金 630万円

◆里山整備関連事業 550万円

村単農業施設改良事業

・水路改修や個別施設計画、ため池ハザードマップの作成。

◆住宅等支援事業 1,173万円

里山整備関連事業

・九十九谷森林公園内の案内看板の設置や通学路、車道沿線の支障木伐採を行う。

◇下水道建設改良費 1億6,850万円

住宅等支援事業

・定住促進のため住宅建築関連等の各種補助（新築補助金・空き家活用補助金・住宅用地取得補助金）を行う。



令和元年度

各地より出されたご意見の一部を掲載します。今後

自治会活動について

ご意見

高齢化により自治会活動の存続が厳しくなってきました。

答 検討課題

非常に大きな課題です。持続可能な地域コミュニティのあり方として、どの様な組織体制が良いのか住民の皆さんと共に考えていきたいと思えます。

地区作業の出役について

ご意見

高齢化により河川清掃、地区内の草刈りが厳しい。

答 調査研究中

多くの地区から同じような意見が出されています。地区内の景観整備の点からも重要な課題だと捉えています。

統合保育園建設について

ご意見

建設にあたり、周辺の道路整備、排水処理の課題はどうなっているのか。

答 提言課題

周辺住民の皆さんの関心の高い課題です。関係地区に対して不安解消の為の情報公開を求めて参ります。

阿島橋上流側の天竜川堤防道路の安全対策を

ご意見

通勤通学時に、自転車を含め混雑し危険な状況が見受けられる。

答 検討課題

まずは状況把握を含め、調査を求めて参ります。対応策については今後の検討となると考えられます。

議会報告会より



も出されたご意見に真摯に向き合って参ります。

弁天橋付近の渋滞解消を

ご意見

県道18号線弁天橋付近の朝晩の渋滞解消に向けた対策を。

答 提言課題

当案件については認識しています。状況確認も含め、村を通じ県に対し要望して参ります

農地の有効利用は

ご意見

農地へ企業誘致を行ない有効活用出来ないか。

答 調査研究中

かつての構造改善により整備された第1種農地については原則農地転用が出来ません。従って農地は農地として守っていかなければなりません。今後も許可要件を探りながら農地の有効利用に繋げて参りたいと考えます。

避難所の非常用電源の発電容量の検証を

ご意見

避難所の非常用電源の確保として、エアコンが稼働できるくらいの非常用電源の確保が必要では。

答 検討課題

大型の発電機や蓄電池は、その導入費用や維持管理に多額の費用を投入しなければなりません。災害時の非常電源の確保には十分な検討が必要と考えます。

地域防災力の強化を

ご意見

災害に向けた更なる強化を願う。

答 提言課題

身近なところで大きな災害も発生しています。自助、共助、公助の中で、何が大切か。常日頃の検証が重要と考えています。

北部ブロック町村議会総会 喬木村にて

2月17日下伊那郡北部ブロック町村議会総会を本年度当番村である喬木村で開催した。第一部では早稲田大学マニフェスト研究所の中村事務局長の講演。第二部総会では県への要望、県議会への陳情活動などの報告が行われた。

◆「南信州地域振興局管内に運転免許センターの早期設置を求めることについて」県議会では採択。警察本部は飯田警察署の建て替えに合わせた設置を検討との回答。

◆「県道上飯田線改良の早期着工を求めることについて」の陳情は継続審査との結果。県建設部は、上飯田線は三遠南信道のアクセス道路であることは認識している。抜本的な改良は、路線の利用状況と整備状況、整備の緊急性を考えて検討していきたい。

◆阿島橋は当面は今の橋を利用したい。法定点検ではランク4の内3～4が整備を要するランクであるが、まだそこに入っていない。直しながら使っていきたい。という回答であった。

◆「長野県によるグループホームの防犯防災設備設置改修に対する助成制度の拡充を求めることについて」の陳情は県議会9月定例会で採択。県健康福祉部は重点課題だが、国からの予算額が、全県からの要望に応えられていない。引き続き国に要望していきたいとの回答があった。



喬木村村議会と飯島町議会合同で議会運営研修会視察



移動販売車



グループ討議

◆道の駅「田切の里」

農産物販売・農産物加工販売・食事処・通行車両の休憩・移動販売車両による巡回販売・災害時には避難所としての多くの機能をもつ施設となっている。

◆小水力発電施設

議員の提案から事業化された施設で、井水の流末に設置され稼働している。一般町民、法人など多くの人が関わり、運営されている。

◆合同研修会

飯島町議会は12名中5名が女性議員という構成。2年前に喬木村議会を視察された縁で今回の合同研修会が実現。

「議員の質の向上と女性及び若年層の議員の活躍の場を広げるために」をテーマに山梨学院大学の江藤教授の講義とグループに分かれてワークショップ形式で交流討議を行った。

議会視察～令和2年2月4日 熊本地震震源地 益城町

視察のテーマ

震災発生時

災害対策本部の設置の過程
と課題

情報の収集

震災対応と対策

情報の発信

避難所の設営と運営

弱者対策

インフラの確保

消防団の対応

議会の対応

議会BCPの運用

議会運営

住民対応



仮庁舎での業務が続いている



議会棟

熊本地震は、前震＋本震と連続して大きな揺れに見舞われ、混乱の状況は想像を絶する。震災発生から、時系列において刻々と変化していく事案に対し、的確な判断が求められる。

喬木村としては、予見される事案に対し課題を明確にして備えていく必要がある。今後、震災が発生した際、限られた行政側の人員の中で、住民が一丸となって、いわば復興チームをいかに早期に作り出すかが鍵になると考える。

議会視察～令和2年2月5日 熊本第一学園（熊本市）

視察のテーマ

保育園園舎の建築構造等提案

保育内容の提案



研修風景

統合保育園の建設に向けた視察は、保育所ありかた検討委員会および議会社会文教委員会を中心に行って来た。議会全体の提案をまとめるために、プロポーザル前の最後の視察として総務産建委員会と共に熊本第一学園を訪問した。

●保育内容

「しせい教育」は、幼児期にふさわしい、心が通い合う温かい環境の中で、科学的に裏付けられた的確な教育を実践しようとするものである。私立幼稚園であり教育理念や目標は、保護者と共有できているが、当村保育園では、厚生労働省の保育所保育指針に沿った保育が行われている。国の指針にも記されているが、各保育所の理念や目標に基づき、子どもや保護者の状況および地域の実情等を踏まえて行われるものである。そのため、独自性や創造工夫が尊重される。南・中央アルプスや天竜川等を眺めながら、それら自然豊かな環境を生かし、郷土愛を育む保育が大切と思った。また、マリア・モンテッソーリの考案した幼児教育が実践できる環境作りが必要と感じた。

●園舎建設

建物は、限られた敷地内での建設のため二階建てであり、当村の平屋を想定したものではないが、間取りや空間の活用は大変参考になった。特に自然光を取り入れ、間仕切りを設けていない内部は、園児数の増減にあるいは保育内容に応じ柔軟な対応が可能である。震災時で棚等転倒の問題が無ければ取り入れを提案したい。園内のトイレは、いつでも何処からでも自然に使用でき開放感があり不浄の設備と感じなかった。熊本地震での状況をお聞きして、建設に向け一番重要な事は、地震等天災に強い建物であり、万一の事態に園児の生命を守ることでありと再認識した。



間仕切りのない保育室

喬木中学校3年生

感性豊かな柔軟な発想に ヒントを頂きました

1月28日に、中学校3年生が12月に実施した役場等関係職員から聞き取り調査した喬木村の課題をもとに、議会に直接要望・提案がされました。



要請項目	要請内容	審査結果
ゆるキャラ製作	くりん草のゆるキャラ製作	趣旨採択
ボランティアの人出確保	くりん草園のボランティアの充足	趣旨採択
くりん草園の駐車場確保	駐車場の整備	趣旨採択
喬木限定スイーツの提案	新しい、いちごスイーツの開発	採 択
キッチンスペースの確保	スイーツ開発のための場所の確保	採 択
スイーツ開発の材料提供	原材料（いちご）の確保	採 択
椋鳩十記念イベント開催	椋先生に関連した広範なイベントの開催	趣旨採択
記念イベントの会場の確保	椋先生記念イベントの会場の提供	採 択
記念イベントの周知方法	椋先生記念イベントの広報の充実	採 択
お土産の宣伝	ホームページの充実	採 択
特産品販売場所の拡大	村の土産品の販売場所の確保と拡大	採 択
観光案内のチラシ、看板設置	村のPRの充実と案内看板の設置	趣旨採択
教育用タブレットの利用方法	個人負担もシェアに村負担の軽減	趣旨採択
継続したICT教育の支援	今後も安定したICT教育への支援	採 択
ICT教育支援員の確保	ICT教育支援員の充足	採 択
福祉ボランティアの担い手確保	担い手不足の解消	採 択
空家の活用	空家を改装して福祉施設や民泊施設	趣旨採択
高齢者との懇談会	地区ごとの懇談会開催と小中学生の参加	採 択
地域サロンへの小中学生の参加	夏休み等に高齢者とのふれあいの場作り	採 択
複合キャンプ施設の建設	森林浴が行えるカフェを備えたキャンプ場	趣旨採択
九十九森林公園を植物公園	1年を通じて楽しめる植物の定植	趣旨採択
街灯のLED化と増設	街灯のLED化の推進と増設	採 択
ガードレールの点検	危険箇所の再点検により安全確保	採 択
ガードレール設置	危険箇所（山間地）へのガードレール設置	趣旨採択
大型店の誘致	堰下ガイドウェイヤード跡地へ大型店	趣旨採択
リニア駅と村を結ぶ交通網整備	駅と村を結ぶ自動運転バスなどの検討	趣旨採択

議会へ要請書提出

内容の一部を紹介します

中学生より

クリン草を有名にするために、ゆるキャラの制作を考えました。クリン草についてもっと知ってもらうためには、自然を宣伝するだけでなく、幅広い世代に人気のゆるキャラなどを作ることで、たくさんの方が訪れ村の活性化にも繋がると、思います。

提案

議会の回答

キャラクターデザインを募集するなど精力的に活動されたことに敬意を表します。製作には費用面を含め、制作後の運用の方法など課題が多いと感じます。今後詳細を詰めていく中で、公益性がどこまで求められるか、事業主体はどこで、どのような目的で、誰が責任を持って取り組めるかが明確になってくれば、村との関わりも見えてきて事業実現につながるものと考えます。

椋鳩十先生のすごさ、おもしろさを、もっと他の人に知ってもらいたい、興味をもってもらいたい。そうすることで、より喬木の発展にもつながるのではないかと考え「知ってもらうためのイベントの開催」という案を提案します。

提案

椋先生の記念イベントの開催は面白い提案だと思います。現在行っているイベントも含め、全国や、世界に発信できる様なイベントが企画出来れば、必ず、村の活性化に寄与するものと感じます。開催する時期や規模、内容について綿密な企画設計を作り上げることが出来れば実現可能だと思います。

喬木村を多く利用してもらうためには、お客さんに来てもらえるようなお店を作れないかと考えました。2027年にはリニアが開通します。それによって喬木村にもいろいろな人たちが来ることが考えられます。幅広い世代の人たちに喬木村まで足を運んでもらえるように大型店を作ることを提案します。

ここで問題となるのが、土地、予算、労働力だと考えます。それらはリニアの開通により、利用が増えることやリニアの工場の跡地を利用すること、大型店を作ることで地元で働く場ができることなどで解決できると考えます。

提案

リニア中央新幹線の開通に合わせ、堰下ガイドウェイヤードの跡地に大型ショッピングモールを建設することで、喬木村を訪れる人が増えると共に地元で働く場を提供できるとの提案であり、身近に大型店が出来ることは、村の賑わいにも繋がり、特に地元で働く場を確保することへの提案には注目したいところです。



～典型的なアウトドア派～

昼神 二三男

保険者証の名称と色が変わった今も、常用薬の服用や病院への通院もなく健康で暮らしていることにこの上ない幸せを感じています。

母乳が出なかったため山羊の乳で育てられた幼児期。その効か至って健康に恵まれ小・中学ともそれぞれを精勤することができました。家は農家で、小さいながらも相応の仕事が与えられていましたので体を動かすことは苦にならず、これが社会人となっても助けられていたと実感しています。

趣味においては、断然アウトドア派と自負できる状況ではありますが、何れも中途半端でこれを下手の物好きと申すのでしょうか。

よる年には勝てず、最近の動く姿は滑稽に見えているのではないかと感じる昨今です。これからの人生はインドアも含め両方をバランスよく取り入れた生活に心掛けたいと思っています。



「地域」の担い手として

束原 靖雄

会社を退職して地元に入ると、「地域の活性化」とよく言われて将来をどう暮らしたら良いかと仲間と話し合い地域のこと、農業を考えると色々と考えが出て来るがまとまりが出来ない、そんな中で地元には矢筈ダムが有りそのダム湖を利用した活性化を考える様になりその結果、矢筈観光組合を立ち上げダム湖で夏の夜空に花火を打ち上げ、光と音の共演となり花火大会が盛大に行われる様になりました。その後雨沢地区に矢筈トンネルの土捨て場が2 haの広大な農地が出来、栗、ブルーベリーを植えて現在アグリパーク雨沢としてブルーベリー狩り、栗狩りのバスツアーを受け入れ地元の女性達の雇用につながっています。又地区内でも高齢化が始まり人手不足により耕作不能地が増加したため、遊休地対策として集落営農組合を立ち上げ、収穫作業の機械化を進め地区水田の70%を補う、又南部地区の水田にも手伝いを広げ米作りの担い手として頑張っています。



「愛と感謝」

佐藤 文彦

昨年10月の台風19号による長野市北部の被災を受け、災害直後に私もボランティアに入った。

きっかけは以前から懇意にいただいている兵庫県の方から声を掛けられた事だ。

災害直後は道路が冠水している場所もあり、被害の甚大さに息を呑んだ。

「出来る時に出来る事を」私のボランティアの原点はDDK(同年会)にある。喬木村が自立を選択した時から、「自分たちで出来る事は自分たちで！」と、通学路の草刈り、除雪、ごみ拾い。竹藪整備も始めて4年になる。先ずは動く！を実践できる仲間たちを誇りに思う。今回の長野市での活動もそんな思いから始め、私は現在まで10回活動させていただいた。我々のチーム「愛と感謝」は兵庫・大阪・岡山・静岡など全国各地から総勢70名が参加し活動している。これからも「出来る事を出来る時に」被災者の笑顔の一つでも多く取り戻せるよう活動を続けていく。



歌は世につれ世は歌につれのわが半生記

櫻井 登

「老いたる者には過ぎにし青春の郷愁を、若人には呼べど逝にて再び帰り来たらぬ古の幻を」思えば半世紀前が蘇る。ジーンとくる。

古希を越え、振り向けば飯沼丹保から朝日を拝み、夕陽に合掌。時は流れ、伊久間に移住し、あれから30年。

絵描き好きで工業デザイナーか美術教師を夢見た頃の思いに耽る。月1回、信州たかもり熱中小学校の一生徒として、学びとコミュニケーションのひと時を過ごす。

週3日勤務の兼業と土いじりに追われ、それでも昨年はサツマイモ作りに励み、1tの初出荷ができた。ヤフオクで落札したヤンマーディーゼル8馬力の快音とともに、今年も頑張る。

いつも、ぶっつけ本番のマレットは楽しい。後の一杯が実にうまい。

101歳の元気なお袋と、孫の成長と、ひ孫の2人が日々の安堵感に映る。時間よ止まれーっ。

三遠南信自動車道進捗状況

第3工区7.5kmの工事は、富田地区には2路線の工事用道路と関連工事富田バイパス路線。氏乗地区には4路線の工事用道路と関連工事土捨て場道路として林道胡桃沢線改良工事があります。完了した部分を紹介いたします。



林道胡桃線三遠南信自動車道残土50万㎡搬入道路
県道上飯田線より入口架け替え橋梁



林道胡桃線三遠南信自動車道残土搬入道路
防災工事ネット張り



牛首工事用道路
県道上飯田線より取付



牛首工事用道路
県道上飯田線より100m付近

● 議会モニター

2年間議会を見つめて

田上川 下平 裕

2年間議会モニターとして活動してきました。1年目はなかなか、議会の内容、議員の活動など一から勉強させてもらいました。また2年目から少しずつ内容がわかりました。議員一人一人が成長していく姿がわかり、大変良かったと思います。印象に残ったこと、お願いしたいことをいくつかあげさせていただきます。

① マスコミ関係の方が非常に多く感じました。議会モニターの中でも申し上げましたが、マスコミを利用して、もっと村民の方（特に自治会・区・地区の長）などに議会の存在また内容を知ってもらう機会にしてもらいたい。

② モニターとの懇談会は出来れば4回、少なくとも2回は開いてもらいたい。

③ 地区懇談会（小川区）は今まで通り4か所で開いてもらいたい。

最後にこれでモニター終了ですが、各議会の一般質問にはできるだけ傍聴したいと思います。各議員のますますの努力をお願いいたします。ありがとうございました。



子どもたちに農業の魅力を伝えたい

spica (スピカ) 高橋 聡子



私たちは「spica (スピカ)」は、2013年秋「小麦を育て、その小麦粉でパンを焼きたい」と、JAみなみ信州喬木支所女性部の有志や農業に関心のある女性が集まって活動を始めました。

遊休農地での小麦栽培から収穫後の自家製粉、エコープたかぎ店の直売コーナーでの販売までを自分たちで行っています。毎年11月の村の文化祭・JA祭では、全粒粉を使ったクレープを販売。地産地消の小麦本来の甘味や香ばしさが味わえると好評をいただいています。

活動の柱のもうひとつは食育活動です。中央保育園や第一小学校の保育や授業に参加させていただき、畑作業やピザづくりを通じて子どもたちと交流しています。6年生とのピザづくりでは、小麦粉は身近な食材にもかかわらず、そのほとんどを輸入に頼っている現状をクイズ形式で伝えるなど、農業へ関心を持ってもらえるような工夫も。私たちの活動を通じて、農業の魅力、地元産野菜のおいしさ、農業者同士のつながりの楽しさなどを実感してもらえたら嬉しく思います。



村内では農業者の高齢化とともに後継者不足や遊休農地の問題が顕在化しています。若い世代が農業に関心・希望をもてるよう、議会のみなさんにも一緒に考えていただきたいです。

議 会 日 誌

1月

- 9日 全員協議会
- 12日 消防団出初式
- 23日 飯伊町村議会議員研修会
- 28日 中学生と議会との懇談会
- 29日 町村議会運営研修会 (南信)

2月

- 4日～5日 益城町視察 (熊本)
第一幼稚園視察 (熊本)
- 6日 飯島町視察・飯島町議会との
研修交流会
- 10日 全員協議会
- 17日 下伊那郡北部ブロック議会
議員総会

3月

- 3日 令和2年度第一回定例会開会
- 11日 予算決算委員会
- 18日 第一回定例会閉会

今後の予定

4月

- 7日(火) 全員協議会

5月

- 11日(月) 全員協議会

6月

- 3日(水) 議員全員協議会
第2回定例会 (開会)・
午後1時 (案)
- 10日(水) 常任委員会・午後4時30分
午後7時(案)
- 13日(土) 一般質問・午前9時 (案)
- 15日(月) 予算決算常任委員会・
午前9時 (案)
- 17日(水) 常任委員会予備日(案)
- 22日(月) 定例会(閉会)・後1時(案)
- 未 定 新旧議会モニターとの懇談会

7月

- 7日(火) 全員協議会 (案)

表紙写真の説明

新型コロナウイルス感染症予防対策により出席者も限られる中で、元気に保育園を巣立った子どもたち。

- 編集委員会**
- 委員長 福澤眞理子
 - 副委員長 東原 靖雄
 - 委員 中森 高茂
 - 委員 下平 貢
 - 委員 佐藤 文彦

新型コロナウイルスと人類の戦いが始まった。村内においてもお祭りや集会の自粛協力要請に対し、各区会自治会等多くの団体関係者の皆様に協力を頂いている。地域経済活動の縮小により多くの分野で影響も始まる中で、皆様の知恵と協力や国・県の適切な対策で乗り超えたい。早期のワクチンや治療薬の開発が望まれるが、間違った情報やうのみにせず、またそれを配信拡散しないようをお願いしたい。議会は村と共働して、諸課題に取り組んで行かなければならない。(中森高茂)

あとがき